

防でできることを増えた

匡療

医療サイト  
朝日新聞

医療サイト  
朝日新聞

認知症のリスク要因とその要因によって生じる認知症の割合

| 若齢期         | 中年期    | 高齢期        |
|-------------|--------|------------|
| 教育の不足       | 喫煙     | 治療しない視力低下  |
| 難聴          | 身体活動不足 | 大気汚染       |
| 高LDLコレステロール | 外傷性脳損傷 | 社会的孤立      |
| うつ          | 糖尿病    | 過度のアルコール摂取 |
| 糖尿病         | 高血圧    | 肥満         |
| うつ          | 糖尿病    | 肥満         |
| 高LDLコレステロール | 身体活動不足 | 大気汚染       |
| 難聴          | 喫煙     | 治療しない視力低下  |

英医学誌のオンライン委員会の2024年の報告書から  
45%の認知症を予防、遅らせることができる  
全てのリスク要因を取り除けば、理論上は

原因物質に直接はたらく薬 進行抑制に期待

一、このうち、たばこの消費量は、昭和25年の消費量は、昭和24年の消費量の1.5倍に達した。このうち、たばこの消費量は、昭和25年の消費量の1.5倍に達した。このうち、たばこの消費量は、昭和25年の消費量の1.5倍に達した。

[illegible][illegible]

順天堂大名醫教授の  
新井平伊さん

[illegible][illegible]

性が増てゐる。「あつては、  
進んで防の知見も踏み、早期の診断と対症の要  
ツケツケの東京臨長の新伊平、伊平の重  
もの社会の関心の高まるなか、近頃の療  
には、44,000人、推計されてゐる。高  
40年、入、44,344人、